

MemsONEのリリース始まる

3ヶ年の委託事業「MEMS用設計・解析支援システム開発」プロジェクト（新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO技術開発機構）委託事業）で開発したMEMS用設計・解析ソフトの評価版（ 版）を11月からリリース開始しました。11月末日時点で約250件（ライセンスベースでは600件）の引き合いが有り、順次配布を開始しています。 版利用者の評価結果を参考にして改良を加え、プロジェクト開発課題全部を搭載した普及版（ 版）を平成19年5月にリリースする予定です。企業における商品開発・設計に、また大学での研究、教材等への活用を期待しています。

1. プロジェクトの狙いとシステムの特徴

本プロジェクトは、最先端の習熟したMEMS研究者・技術者に利用されるのみならず、初心者や経験の乏しい他分野の研究者・技術者であっても、MEMSに関する高度な知見やデータをストレスなく利用することが可能なシステムの開発を目指しています。これによりMEMS産業の裾野拡大を図ることを狙いにしています。

本システムMemsONEの開発には、ソフト開発企業3社が其々得意の分野を分担、MEMSデバイス事業を手掛けている5社がその経験と実績で仕様付けや評価に参画、13大学の教官が最先端の知識と知恵を提供、1研究機関が長年に亘り蓄積した計測技術を提供することにより、解析・設計の標準的ソフトの他、最終構造からマスクやプロセスを設計するというユニークな「逆問題」ソフトやデバイス開発時に課題の多い接合の評価ソフト、豊富な知識データベース、プロセスラインで取得した材料データベースまでも搭載したシステムを実現しました。

2. 普及に向けた活動

今年度に入りMemsONEソフトの普及に向けた広報活動を展開しています。たとえば10月高松市サポート高松にて開催の第23回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウムでは技術展示のほかに招待講演の形でMemsONEシステムの特徴をプレゼンテーション（プロジェクトサプリーダ 京都大学小寺教授）を行い、多くの方から評価版（ 版）へのエントリーをして戴きました。また同じく10月、大阪市インテックス大阪にて開催の第9回関西設計・

製造ソリューション展においては展示のほか、「出展社による製品・技術PRセミナー」でもMemsONEの特徴を大々的にアピールしました。

更に11月の第17回マイクロマシン展においては「MEMS用設計・解析支援システム開発プロジェクト成果発表会」を実施し、関心を持った250名の聴講者を集めることができました。あわせて展示会場ではプロジェクトとMemsONEシステムをVTRで分かりやすく紹介しました。今回の展示会・発表会では約1000部のパンフレットが引き渡され、MemsONEへの関心や期待が大きいことが伺われました。

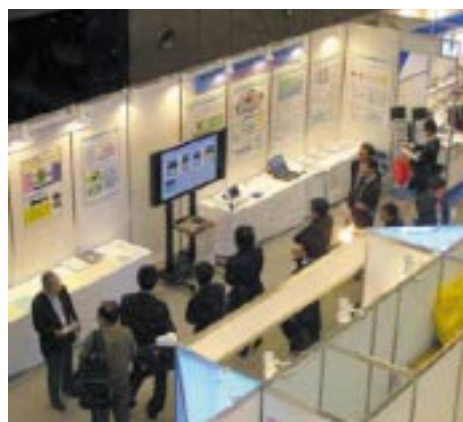


写真1 展示ブースの賑わい



写真2 MemsONEデモンストレーション
（PJサプリーダ 小寺教授による）

3. 今後の計画

平成19年5月の普及版（ 版）配布に向け、残された開発課題をやり遂げることと、評価版（ 版）を使ったユーザからのコメントを取り込んで、使い易いシステムの完成を推進いたします。 版を受け取られた方は試用アンケートへのご協力をぜひともよろしくお願いいたします。